

令和6年8月23日（金）

令和6年度 第2回「横浜市地域公共交通会議」

次 第

議題

議題1_本宿・川島町西地区における実証実験について

議題2_旭区旭北地区オンデマンド実証実験について

議題3_南区三春台・清水ヶ丘地区における実証実験について

報告

報告1_港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

報告2_「こどものみらい共創プラットフォーム」実証実験について

◆ 配布資料

- ・委員名簿
- ・座席表
- ・議題資料
- ・報告資料

令和6年度 第2回「横浜市地域公共交通会議」委員名簿

職 名	氏 名
公募市民	小田部 明人
公募市民	宮本 幸司
学識経験者 東京大学大学院 特任教授	中村 文彦
一般乗合旅客自動車運送事業者 (一般社団法人神奈川県バス協会 乗合部会長)	齋藤 謙司
一般乗用旅客自動車運送事業者 (神奈川県タクシー協会横浜支部 副支部長)	大野 慶太
一般社団法人神奈川県バス協会 専務理事	関上 義明
神奈川県タクシー協会横浜支部 事務局長	稲葉 弘行
神奈川県 交通運輸産業労働組合協議会 副議長	加納 浩孝 (欠席)
国土交通省 関東運輸局 交通政策部 交通企画課長	市野 将英
国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	森下 文章
神奈川県 県土整備局 都市部 交通政策課長 (代理：副課長)	最上 祐紀 (代理：中津川 宗尉)
(座長) 横浜市都市整備局 都市交通部長	松井 恵太

令和 6 年度第 2 回「横浜市地域公共交通会議」	
日 時	令和 6 年 8 月 23 日(金) 10 時 00 分から 12 時 00 分まで
場 所	横浜市役所 18 階会議室 みなと 6・7
開催形態	公開(傍聴：6 名)
議 題	議題 1_本宿・川島町西地区における実証実験について 議題 2_旭区旭北地区オンデマンド実証実験について 議題 3_南区三春台・清水ヶ丘地区における実証実験について
報 告	報告 1_港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について 報告 2_「こどものみらい共創プラットフォーム」実証実験について
議 事	(※本議事概要内では敬称略) 【議題 1】 本宿・川島町西地区における実証実験について ■公募市民 ご意見 ・路線定期運行に変更することで、一人で利用する際の料金が 300 円になり、午後の駅方面の便が出来たものの、月曜日、金曜日、土曜日と 15 時以降の運行がなくなり、トータルすると利便性が向上したとは言えない。住民にとっては使えない交通手段と認識され、予想以上に利用者が減る事にもなりかねない。収支も良くなると思えない。ご意見をお伺いしたい。 ◆事務局 回答 ・アンケート結果を基に今回の変更を行った。また、15 時以降については、小学校の下校時間にかかるため、安全面に配慮し運行をなくした面もある。 この変更により収支、利用者数がどう変化するかは、運行しながら実績の確認やアンケートをとって確認する。 実証実験なので、必要に応じて運行計画を変更する可能性はある。 ■公募市民 ご意見 ・月曜日、金曜日の利用者数は決して少ない。 15 時以降について、今まで運行していたのに、今回から安全面に配慮というのは釈然としない。再度ご意見をお伺いしたい。 ◆事務局 回答 ・利用者数が極端に少ないわけではないが、昨年の実績では相対的に少ない。 今回は、月曜日、金曜日、土曜日を除くことで、利用動向がどのように変わるのか見るため、この計画とした。 ・令和 5 年度は、予約の入ったポイントと駅を結ぶ運行で、ルートは任意のため、通学路を通らないことや、下校時間にかかる際は、避けて運行することもあった。今回の実証実験は路線定期運行であるため、必ず通学路を通ることになる。そこが判断の理由。

■公募市民 ご意見

- ・実験の結果、運行日を増やすことになった際は、住民にしっかりアピールしてほしい。

■座長 ご意見

- ・今回の運行計画は、住民のコンセンサスは得られているということで良いか。

◆事務局 回答

- ・得られている。

■座長 ご意見

- ・運行開始した後のアンケートでは、今回の運行計画に対する住民の意見がしっかり収集できるように工夫を。

■公募市民 ご意見

- ・15時以降は、自家用車も走っているわけで、安全面への配慮が理由というのは違和感がある。

■座長 ご意見

- ・安全面への配慮について、主に主張されているのは、交通事業者か交通管理者か。

◆事務局 回答

- ・交通事業者と試走する中で。危険性があるという判断に至った。
特に小学校周辺は道幅が狭い。

■国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官 ご意見

- ・対象となる世帯が約1,100世帯で、昨年タクシーを利用しなかった方の内、7割が移動に困っていないとあるが、横浜市として、この地区の移動ニーズをどのようにとらえているのか。

◆事務局 回答

- ・この実験は、小規模の移動ニーズにどう対応するかという視点で、あいのりタクシーを進めてきた。小規模とはいえ、実際に困っている方に対応するため、昨年の実験で見えた課題を踏まえ、路線定期運行に切り替える。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・曜日を限定することがどう影響するのかを調査してほしい。
月曜日の運行がなくなったことで、月曜日に乗りたかった人は何をして過ごしたのか、代わりにどう移動したのかなど。
- ・利用者にアンケートをとって、満足しているという結果が出ても、それは実態を表していない。実験中の交通行動、利用できない時の我慢の仕方を確認してほしい。

【議題2】

旭区旭北地区オンデマンド実証実験について

■公募市民 ご意見

- ・資料9ページの「データの標準化」の表の見方と掲載の意図は。

◆事務局 回答

- ・小学校区ごとに人口密度などの指標を可視化するために掲載した。
0を平均とし、1に近づくほど、課題があることが想定される。

■神奈川県タクシー協会横浜支部 副支部長 ご意見

- ・青葉区での取り組みと配車システムが違うようだが、なぜか。

◆事務局 回答

- ・青葉区も旭区も共創フロントの取組だが、青葉区と旭区で連携する事業者が異なるためである。予約、配車の方法は基本的に同じだが、生活サービス連携の割引チケットやマップなどが少し異なる。

■座長 ご意見

- ・共創フロントで連携することになったということだが、今後システムは統一すべきなのか、地域の特性によって違うシステムでも良いのかなど、市民サービスの視点で考えながら進めていくことが望ましい。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・システムに関しては、日本にはたくさん事例や実績がある。
コストと機能のバランス面など、システムについて理解したうえで、市としてオンデマンド交通でどう活用していくのか考えて進めてほしい。
- ・資料21ページのKPIの目標に公共交通の利用促進とあるが、外出を躊躇っていた人が外出するようになったこと、自家用車からの転換、タクシーやバスからの転換などそれぞれをどの様に評価するのか丁寧に考えてほしい。

■公募市民 ご意見

- ・住民への周知は、具体的にどのように行うのか。告知はきめ細かくやっていただきたい。というのは、9月から開始予定の日吉・綱島エリアでのオンデマンド実証運行について、地元の住民には伝わっていない可能性があるため。

■座長 ご意見

- ・チラシを全戸配布するとともに、連携施設へのポスターの掲出、登録会の実施などを考えている。
- ・また、周知については、地域の方にも動いてもらうことが大切だと考えている。
まちづくり福祉推進会議には、自治会や地域ケアプラザなども参画しているため、そのような方に力も借りて周知を行う。

■国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官 ご意見

- ・実施期間中の、祝祭日、年末年始は運行するのか。

◆事務局 回答

- ・当該地区は、高齢化率を考慮し、日常の移動を対象に平日に運行することとしている。

そのため祝祭日、年末年始は運休。

【議題3】

南区三春台・清水ヶ丘地区におけるワゴン型車両による実証運行について

■一般社団法人神奈川県バス協会 乗合部会長 ご意見

- ・運行時間帯について、通勤通学の時間がカバーされていないが、地域の合意はとれているのか。

◆事務局 回答

- ・地域の合意はとっている。アンケートの結果、買い物の需要が大きいため、この運行計画とした。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・効果検証とは何を行うのか。
どういう効果を想定して、アンケートをするのか、他の方法で行うのか。

◆事務局 回答

- ・実証運行を行う中で地域の需要を把握し、実態に合った形態となっているか検証し、必要に応じて運行計画の見直しを行う。
アンケート以外に、乗車人数など定量的な数値を把握する。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・あらかじめ目標や検証方法を用意しておくことが重要である。

■神奈川県タクシー協会横浜支部 副支部長 ご意見

- ・実証運行後も時間制運賃でタクシー会社が行うのか。
・今の運賃では、採算が取れないとわかっていると思うが、どう解決していくのか。

◆事務局 回答

- ・協賛金等見込んでおらず、運賃収入で賄う。収支面における目標人数を設定している。

■座長 ご意見

- ・協賛金等も今後検討してほしい。

【報告1】

港南区永野・永谷地区「ながなが号」の実証運行の終了について

- ・質疑無し

【報告2】

「こどものみらい共創プラットフォーム」実証実験について

■神奈川県タクシー協会横浜支部 副支部長 ご意見

- ・料金の「法人：8,500 円/時間～」があれば、収支が取れ、持続可能となる。
他の実証実験でも、このレベルの収入が確保できるよう、運賃収入以外の収入があることが重要。
- ・タクシー事業者としては、特定の時間帯だけ、ワゴン型車両など、輸送力のある車両が必要となってしまう。まだアイデア段階だが、自家用車活用事業も視野に入りたい。
白ナンバーで多人数乗りの車両を運行させることも出来ると良い。

◆hab 株式会社 回答

- ・運行事業者の負担となっていることは自覚しているため、このサービスに本当に協力したいと思っている方に手を挙げていただきたいと考えている。
- ・弊社にドライバーになりたいと連絡いただくことがある。
多くは子育てを終えた女性で、取組に共感し、協力したいと連絡をくださる。
社会貢献という文脈で協力したいという方を集められれば、win-win の関係が築けると考えている。